

# THE SUSTAINABILITY OF BARGES

## 地球にやさしく輸送コストを削減

海上輸送の CO2 排出量は陸上輸送の 5 分の 1 程度でも環境負荷が少なく、CO2 排出制限に貢献することができます。

## 環境対策と経営課題の両立を実現

一般的に海上輸送の CO2 排出量は陸上輸送の 5 分の 1 程度とされています。はしけ輸送は同時に 2～3 隻曳航できるため、海上輸送の中でも環境負荷が少なく、CO2 排出制限に貢献することができます。

はしけ輸送は大型の貨物、大量の貨物を一度に輸送することができるため陸上輸送と比較すると低コストな輸送が可能です。輸送スピードはゆっくりですが、計画を立てれば問題なし。急ぎすぎの現代社会にすこし余裕のある輸送を実現しませんか。



# 環境対策と経営課題の両立を実現する 船運送

様々な荷物を環境に配慮しながら低コストで阪神間の貨物輸送が可能

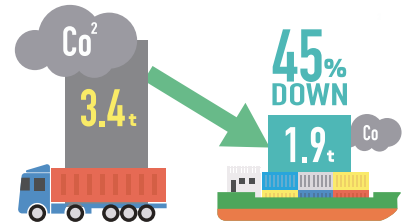
## 実はすごく環境に優しく効率的な船運送

一般的に陸上輸送と船舶輸送を比較するとCO<sub>2</sub>排出量は5分の1しかありません。はしけ輸送は2～3隻のはしけを同時に海上輸送できるため船舶の中でも環境負荷が少ない輸送です。CO<sub>2</sub>排出量の低減が必然となりつつある社会においてははしけ輸送を利用することでCO<sub>2</sub>排出低減の義務を果たすことに一役買うことができます。

また物流業界全体で陸上ドライバー不足が問題視されてる中、陸上、海上を複合利用するモーダルシフトが注目を集めています。国土交通省は「物流分野の労働力不足に対応するとともに、温室効果ガスの排出量を削減しカーボンニュートラルを推進するため、物流総合効率化法の枠組みの下、トラック輸送から、よりCO<sub>2</sub>排出量の少ない大量輸送機関である鉄道・船舶輸送への転換（モーダルシフト）等を荷主・物流事業者を中心とする多様・広範な関係者の連携のもとに推進する（グリーン物流の推進）」と公表しています。

### 大阪港から神戸港までの輸送

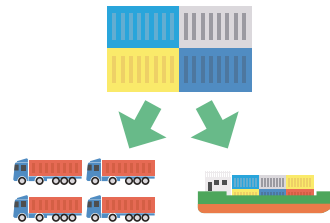
貨物：40ft コンテナ 48本 / 総貨物重量 720t (15t / 本)



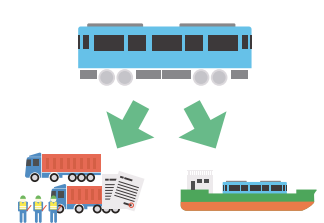
## 船で解決できること

船（はしけ）は大量の荷物や大型の荷物を一度に輸送するのが得意です。道路交通法に抵触する大型貨物・重量物もはしけは輸送であれば難なく輸送できます。陸上輸送には橋脚の耐荷重問題があり、許可がなかなかでない・・・という困りごとを船（はしけ）であればクリアができます。またドライバー不足でなかなかトラックが集まらないとお困りの方も船（はしけ）であれば解決できます。

### 大量の荷物



### 大型の荷物



## 船のメリット・デメリット

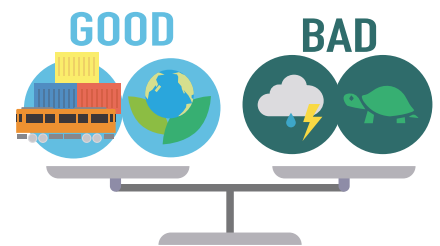
陸上輸送に比べ、環境に優しい船（はしけ）にも陸上輸送と比べ弱い部分があります。例えば船（はしけ）はエンジンがないため、波が高いとき、風が強いとき、潮流が速いときの輸送を苦手とします。いつも晴れていて穏やかな海だけではないため、余裕を持った事前のスケジュール調整が必要となります。以下に船（はしけ）のメリットとデメリットをご紹介します。

### メリット

- ・大量輸送（例：コンテナ輸送、鋼材、建材）
- ・重量物輸送（例：プラント製品、大型エンジン）
- ・大型貨物輸送（例：電車、産業機械）
- ・バラ物（例：小麦、飼料）

### デメリット

- ・航海スピードがゆっくり
- ・荒波では輸送ができない
- ・天候や潮流状況に輸送工程が左右される為、急を要する貨物や小ロット貨物には不向き



## 一般社団法人阪神港はしけ運送協会の輸送範囲

船（はしけ）は、法律で定められた港湾運送事業の一つであり、その成り立ちより政令で定める区間（=指定区間）に輸送範囲が定められています。当一般社団法人阪神港はしけ運送協会は神戸港に所属しており、神戸港内輸送及び指定区間（姫路港、東播磨港、尼崎西宮港、大阪港、和歌山下津港）の往復輸送と定められています。

